

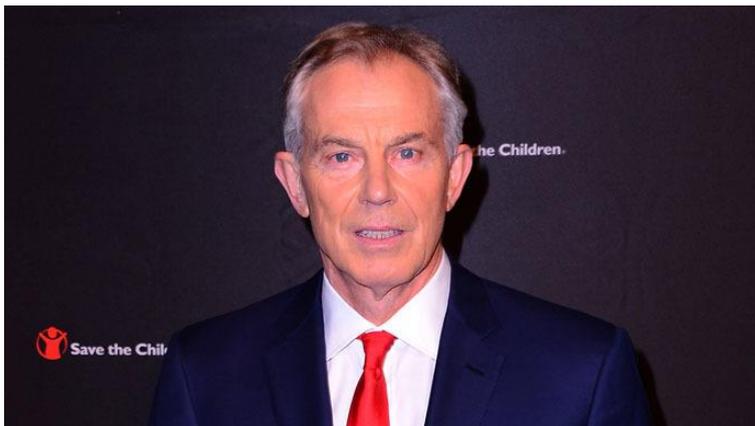
「セイブ・ザ・チルドレン」がトニー・ブレアに賞を与えたことを謝罪

【訳者注】これは小さなニュースともいえるが、「お上（とその御用メディア）のなさること、おっしゃることに口出しはできない」という風潮を破る上で、突破口になるかもしれない。そう願いたい。これをモデルに勇気をもって行動すべきである。

報道されない大規模テロには賞が与えられ、抵抗の小さなテロは大逆として報道される。「黙っていたら我々は敗北しかない、ホロコーストしかない」という Dane Wigington や John Pilger のいつも口にする警告を思い出すべきである。Cf. [セイブ・ザ・チルドレン.docx](#); [イラクの子供たちはいつも消耗品.docx](#)

RT (Russia Today)

March 3, 2015



前英首相トニー・ブレアに「グローバル・レガシー賞」を与えたことで砲火を浴びていた慈善団が、スタッフや支持者を憤慨させたことに対し、謝罪した。

「セイブ・ザ・チルドレン」の責任者 Justin Forsyth は、この決定に腹を立てていたスタッフや一般大衆に対し、「大変申し訳ない」、この問題は「無用の混乱を起こさせるもの」だったと言った。

ブレアの前補佐官だったフォーサイスは、BBCの「トゥデー」番組で、「我々の多くの支援

者やボランティアの方々に大きな動揺を与え、また我々のスタッフのある者たちに対して、大変申し訳なく思っている」と話した。

彼は、前首相に対し、特に彼のアフリカでの行動についてでなく、地球的な仕事についてこの賞を与えたことは「間違っていた」と言った。

この謝罪がなされたのは、この決定について広範囲な反発があり、10万以上のオンライン請願署名が集まった後でのことだった。この請願書は、授賞を取り消すことを要求しており、500を超える「セイブ・ザ・チルドレン」のスタッフもこの要求を支持していた。

抗議者たちは、ブレアが、2003年のアメリカ主導の攻撃に参加してイラクを侵略したことを、この慈善団が見落としていたらしいことに憤慨していた。この攻撃によって何千もの一般市民が殺されたのである。

フォーサイスは、ブレアに賞を手渡す決定は、この慈善団のアメリカの“姉妹組織”によってなされたもので、そこでは、ブレアの評価はあまり論争にならなかったのだと言った。

関連記事：「“悪魔的にして馬鹿げた”：セイブ・ザ・チルドレンのトニー・ブレアへの授賞に対する怒り」 <http://rt.com/uk/207387-blair-award-sparks-outrage/>

彼はさらに、この授賞は彼のアフリカでの功績に対するものだったと言った――

「そうです、それはグローバル・レガシー賞です。そう呼ばれていました。しかしそれは、バーミンガムとグレニーグルズの2度のG8サミットでの、トニー・ブレアのアフリカ関係のごく限られた仕事に対するもので、彼のより広いレガシー（功績）に対するものではないのです。」

「もしそれが、彼のより広いレガシーに対するものだったら、それは間違いだったと思います。しかしそれは、全く特定の、アフリカと子供たちに対するものだったのです」と、フォーサイスは言った。

「これだけ多くの人々を怒らせたことを申し訳なく思っています。これは、セイブ・ザ・チルドレンがやっていることではありません。我々が実際にやっているのは、シリアでの活動、シエラレオネのエボラ治療センターの仕事などです。」

「これは本当に“無用の混乱”でした。ご心配をかけた皆様に心からお詫びします」と彼は

付け加えた。

フォーサイスは、この団体の評判に与えたダメージは、騒ぎが大きくなったからでもあるが、支持者の方々は、組織は間違いを犯すものだということを、承知していただきたいと言った。

彼がブレアの補佐官になったのは、貧困や気候変化問題のアドバイザーとしてであった。セイブ・ザ・チルドレンの名簿には、彼は「“貧困脱出” キャンペーンの背後の駆動力の一つだった」と書いてある。

セイブ・ザ・チルドレンに最終的に加わる前は、彼は前首相ゴードン・ブラウンの、政策的コミュニケーションおよびキャンペーンのディレクターだった。